

Rotary



世界に希望を生み出そう

CREATE HOPE in the WORLD



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 石川 元信

幹 事 谷田部 修

会報・雑誌委員長 田崎 信孝

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算3015号 2023年9月19日(晴れ) 第11回例会 会員数105名

ハイブリッド例会

点 鐘 石川(元) 会長
司 会 副SAA 駒場会員

◇ロータリーソング「我等の生業」

◇本日のランチ 小付 揚げ物 鶏ももカレーソース
煮込み 香の物 汁 御飯 デザート

ビジター紹介 小林(正) 副会長

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,617名

卓話者 第2550地区第3グループB

ガバナー補佐 上野裕之様(宇都宮陽東RC)



会長挨拶 石川(元) 会長

皆さん、こんにちは。この後、ガバナー補佐から貴重なお話をいただけたと思いますが、その前に私の方からお話をさせていただければと思っています。お彼岸が近づいて参りました。此岸、彼岸といいますが、「この(此の)岸」が迷いの世界で「かの(彼の)岸」が悟りの世界になります。悟りの世界に行くために、一週間を決めて修行する、特別な日が「お彼岸」ということになります。お彼岸は秋と春にございますが、お彼岸の中日はちょうど真東から太陽が昇り、真西に沈む日です。私たちの方でよく「西方極楽浄土」と申しますが、亡くなったご先祖様は「西方極楽浄土」にいらっしゃる。昔の日本人は信じていました。ちょうど真西に太陽が沈むその日に、ご先祖様がいる「西方極楽浄土」に我々も行けるように、ということで、秋と春にはじまったと言われていました。お彼岸には、ご先祖様を忍び、代々命を繋いだご先祖様のお陰でここにいる、というありがたさを噛みしめながら、それぞれご精進いただければありがたいと思っています。



幹事報告

谷田部(修) 幹事

◇例会終了後、地下1階菊の間にて上野ガバナー補佐をお招きしての第2回クラブ協議会開催。理事役員並びに会員、特に入会3年未満の方はご出席を。

◇来週9月26日は昼の例会。お間違えなく。



委員会報告

◇スマイルボックス委員会 菊地(正) 委員長
上野裕之ガバナー補佐

本日のクラブ協議会宜しくお願い致します。



ガバナー補佐卓話

「感動の共有」



RI2550地区第3グループB

ガバナー補佐 上野 裕之 様

皆様、こんにちは。宇都宮陽東ロータリークラブに所属しております。生まれも育ちも宇都宮市内です。出身高校は宇都宮東高等学校の第1期生で、ちなみに、宇都宮東高等学校は今年創立60周年にあたり、今月の29日に文化会館にて記念式典が開催されます。本日はガバナー補佐としての事前訪問ということでお邪魔させていただきました。当クラブの谷田部幹事から「卓話を」との

ことでしたので、「感動の共有」というテーマでお話させていただきたいと思います。

「発想の発端」は私が企業人としてデビューした1971年に遡ります。1964年に第1回目の東京オリンピックが開催され、1970年には同じく第1回目の大阪万博が開催されました。この間の、1960年代の日本経済は、高度成長時代と呼ばれており、当時のサラリーマンを形容する決まり文句として「猛烈社員」という言葉がありました。「猛烈時代」はプッシュ、プッシュが世間の趨勢であり、成長至上主義が企業の第一条件でした。「売って売って売りまくれ」「ナンバーワンを目指せ」「注文取るまで帰って来るな」などといった過激なスローガンが飛び交っておりました。

その当時のテレビコマーシャルで注目を集めていたのは、丸善石油が100ダッシュハイオクガソリンのアピールに使った小川ローザの「オーモウレッツ」というCMです。モーレッツ嬢の小川ローザは、売れっ子タレントとして大人気で、ポスターが盗まれるスタンドが続出するほどでした。もう一つが、森永製菓のCMで「大きいことはいいことだ」をキャッチコピーにした「森永エールチョコレート」のものでした。作曲家の山本直純が気球に乗って大空へと解放されていく「楽しい」CMでした。何れのCMも「重厚長大」への経済発展を推し進めていたものです。

しかしながら、1970年代になり、時代の変化が始まりました。働き過ぎや、人間性の回帰、そして自然破壊に対する警鐘が鳴らされ始めました。「おらはしんじまっただ」を歌ったフォーククルセダーズに加藤和彦が、銀座の松屋の前を「ビューティフル」と歌いながらゆっくりと歩いて行くコマーシャルが流れました。これは複写機メーカーの富士ゼロックスが発信したCMで、「モーレッツからビューティフルへ」という斬新なメッセージがありました。このCMは日本広告史上初の、そして最高のメッセージであるといわれております。当時、ライバル会社に勤めていた私にとりまして、とても感動して見ており、富士ゼロックスに対する尊敬の念すら抱いたものでした。

このビューティフルへの流れは、現在の「SDGs」にも繋がっていると思います。「SDGs」とは、世界環境を守りながら、全ての人が豊かさを享受できる、そうした世界実現を目指す、国連の「持続可能な開発目標（サステイナブル デベロップメント ゴールズ）」の取り組みです。貧困の根絶・健康の増進・教育機会の確保・気候変動の対策推進・持続可能な経済成長等、17の目標があります。

話がそれましたが、営業マンの世界にも変化が

始まりました。「顧客第一主義」とか「顧客満足度の追求」という考え方が重要視されて参りました。大阪商人・伊勢商人と並び、日本の3大商人の一つといわれる近江商人の経済哲学に「売り手よし・買い手よし・世間よし」の「三方よし」があります。商売においては、売り手と買い手が満足するのは当然の事、社会に貢献出来てこそ良い商売と言える、ということです。「喜び・楽しさ・驚き・幸せ」などの感情は、お客様と自分との出会いがあつてこそ生まれるものです。お客様と感動を共有する関係を築くことが大切なことです。そこから信頼関係が出来て参ります。

昨今では「働き方改革」やデジタル化が喫緊の課題となっております。営業マンの役割も、いかにして相手の立場に立って考えるかが重要視されます。感動の共有はウイン＝ウイン＝ウインの関係作りともいえるかと思えます。お客様と感動を共有する。しかも地域社会に貢献できる製品を提供することが望まれます。営業マンの役割と責任も変化し、進化してきたと言えます。私自身「感動の共有」を座右の銘にして働いてまいりました。

さて、ロータリーは出会いの場であり、感動を共有する関係を構築する場でもあると思います。私も、ガバナー補佐を受諾して、ロータリー活動を新たに体験して参りました。いろいろな出会いがあり、楽しみが増えて参りました。皆さんもよくご存じの四つのテストには「みんなのためになるかどうか」という項目があります。ビジネスの世界でも、ロータリー活動においても、いつも心に「みんなのためになるかどうか」をおいて行動することが望まれます。

最後になりましたが、2550地区では県内48クラブの殆どが、10月21日と22日に「全国ポリオデイ」を予定しております。10月20日の日本経済新聞には、全国一斉の1ページ全面広告が予定されています。第3グループA・Bは10月21日に市内6か所で募金活動を実施いたします。二荒山前ばんば広場・宇都宮駅東口宇都宮テラス前・宇都宮駅西口ナリエデパート前・ベルモール・オリオンスクエア・そして宇都宮東クラブさんが実施します東武デパートオリオン通り出口付近です。時間帯は午前10時から12時になります。今回の「全国ポリオデイ」については、三井ガバナーの、ロータリークラブのPR、ロータリークラブの認知度を向上させたい、という思いもあります。10月21日、「感動の共有」が出来る1日になりますように、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

クラブ協議会（第2回）

議長 石川元信会長
進行 谷田部修幹事

ガバナー補佐挨拶

第3グループBガバナー補佐 上野 裕之様

2023～24年度事業計画について



クラブ奉仕委員会

プログラム委員会

会員増強委員会

親睦委員会

職業奉仕委員会

代理 谷田部修幹事

社会奉仕委員会

代理 床井光雄副委員長

国際奉仕委員会

青少年奉仕委員会

ロータリー財団委員会

R米山記念奨学会委員会

ローターアクト委員会

会場監督（SAA）

小林正明委員長

小林弘治委員長

伴 誠委員長

石田裕之委員長

山中和弥委員長

手塚正智委員長

片嶋常隆委員長

永井泰幸委員長

細谷俊夫委員長

渡邊和裕委員長

田原 聖委員長

山下大介 SAA

※2023～24年度 現況報告書参照（89頁～）

質疑応答（講評）

上野裕之ガバナー補佐

・出席について

コロナの影響もあり、あやふやになってきている。「正確にやりましょう」という三井ガバナーの考えがある。ガバナー公式訪問のデスクッションでご確認いただければと思います。

・マイロータリーの登録推進について

これからデジタル化の時代なので、是非、ソーシャルメディア委員会で、積極的に進めていただければと思います。

ガバナー公式訪問やガバナー補佐研修、その他、いろいろな会合で三井ガバナーのお話を拝聴して参りました。三井ガバナーのお人柄、目指していることを垣間見てまいりました。ロータリー歴42年の方です。何から何まで知り抜いている方です。公式訪問のオープンディスカッションの時に、皆様からいろいろと質問していただき、三井ガバナーの考え方をご確認いただければと思います。

今は変化の時代ですので、60年の歴史の中で、ひとつの型が出来ていると思いますが、新しい時代に向かって変化を恐れずに考えを進められたらいいのではないかと思います。